



『名古屋城罹災実景ノ図』

# あゆち

愛知県図書館報

NO.12

2011.12

## 特集●災害に備える



『西春日井郡清洲本丸ノ図』

突然、私たちの生活を襲う自然災害にどう備えればいいのか？  
災害を知り、いざというときに備えるための資料をご紹介します。



『岐阜県長良川鉄橋破壊ノ図』

いずれの写真も『濃尾地震写真』  
(愛知県図書館蔵)より

# 災害を知る

2011年3月11日、三陸沖を震源に発生した東日本大震災は、東日本に大きな被害をもたらしました。大陸と海洋にはさまれた日本は、世界の中でも自然災害が発生しやすい国と言われています。今号では、自然災害についての基礎知識や、防災から復興まで様々な災害対策についての資料をご紹介します。

## 災害を調べる

### 災害に関する本の分類番号

|      |       |
|------|-------|
| 災害全般 | 369.3 |
| 津波   | 452.5 |
| 地震   | 453   |
| 防災工学 | 519.9 |

※この分類の棚を見ると同じテーマの本が探せます！

### ●『地震のすべてがわかる本』(453)【4F】

地震の起きるしくみから予測まで、地震に関わる幅広いテーマをイラストと写真を使ってわかりやすく解説しています。

### ●『津波』(452.5)【4F】

岩手県三陸町出身の津波研究者・山下文男氏が「津波」について解説した本。その恐ろしさを切々と綴っています。東日本大震災で有名になった「津波てんでんこ」の伝承についても書かれています。



『地震のすべてがわかる本』土井恵治/監修 成美堂出版 (2005)

### 事典

### ●『自然災害の事典』(519.9)【4F】

地震から火山・気象・土砂災害まで、さまざまな自然災害の基礎知識や観測、対策、予知などについて各分野の専門家が執筆した事典。

※『地震の事典』(R453.03)『地震防災の事典』(R369.31)『津波の事典』(452.5)『火山の事典』(R453.8)なども所蔵しています。



※書名の後の( )内は分類番号 R=参考図書 A=地域資料

## 東日本大震災について知る

### 報道写真

### ●『東日本大震災特別報道写真集』(369.31)【4F】

震災発生からの現地姿を記録したカラー写真集。同様の報道写真集がほかにも読売新聞社、朝日新聞社、産経新聞社、河北新報社など各社から出版されています。



『東日本大震災特別報道写真集』共同通信社 (2011)

### 新聞

### ●『河北新報』(1年保存)【2F】

宮城県をはじめ東北六県をカバーする新聞です。被災地の状況をいち早く知ることができます。

### ●『河北新報特別縮刷版 3・11 東日本大震災 1カ月の記録』(369.31)【4F】

「河北新報」の3月11日から1ヶ月分の主要紙面を収録しています。



『河北新報特別縮刷版』河北新報社/編 竹書房 (2011)

## 過去の災害を知る



『日本災害史事典』日外アソシエーツ/編 日外アソシエーツ(2010)

### ●『日本災害史事典 1868-2009』(R210.6)【3F】

明治元年から平成21年までに日本で発生した災害4,557件を収録。死傷者数や被害規模がわかります。

### ●『愛知県災害誌』(A369.3)【3F】

古代から昭和44年までに愛知県で発生した地震、風水害等の災害について、被害状況や気象資料などを掲載しています。昭和45年～昭和55年編と昭和56年～平成3年編もあります。



## 愛知県で起きた主な地震

※書名の後の( )内は分類番号 B=書庫

愛知県内にも多数の活断層が分布しており、過去に地震による大きな被害を受けています。(※地震のデータや被害者数などは『理科年表』による)

### 濃尾地震

明治24(1891)年10月28日発生 震源:岐阜県本巣市 死者7,273名

マグニチュードは8.0と推定され、日本で起こった内陸型の地震としては最大のもので、愛知・岐阜両県に特に大きな被害をもたらしました。上下差6メートルにもなる根尾谷断層は、地震の規模の大きさを象徴するものとして有名です。



根尾谷断層(『濃尾地震と根尾谷断層帯』より)

- 『明治24年濃尾大震災写真帖』(A453)【3F】
- 『濃尾震災 明治24年内陸最大の地震』(369.31)【4F】

### 東南海地震 ・三河地震

東南海地震

昭和19(1944)年12月7日発生 震源:熊野灘 死者・行方不明1,223名  
三河地震

昭和20(1945)年1月13日発生 震源:三河湾 死者2,306名

戦時下に相次いで起こったこの2つの地震は、愛知県に甚大な被害をもたらしましたが、当時の情報統制のため、被害の詳細には不明な点が多く残されています。現在も関係者により被害記録の掘り起こしの努力が続けられています。



『三河地震60年目の真実』木股文昭[ほか]/著 中日新聞社(2005)

- 『恐怖のM(マグニチュード)8』(A453/453.21)【3F/4F】
- 『戦時報道管制下隠された大地震・津波』(B453.21)【書庫】
- 『三河地震60年目の真実』(A453/369.31)【3F/4F】

## 将来の災害を知る

### ■東海地震とは?

駿河湾海底を震源域として、近い将来マグニチュード8.0程度の大規模な地震が起こると予想されています。これが「東海地震」です。東海地震が発生した場合、愛知県では震度6強か6弱程度、また太平洋沿岸の広い地域に津波の来襲が予想されています。

### ●『東海地震がわかる本』(369.31)【4F】

東海地震についてそのメカニズムや予知など、様々な面から解説しています。名古屋大学災害対策室編著。

# 災害に備える

ここでは、災害に備えるために、地域の防災計画や個人でできる防災対策の本、防災に役立つ地図や活断層図、ハザードマップなどをご紹介します。

## 愛知の防災

●『愛知県地域防災計画 地震災害対策計画(平成23年6月修正)』(A319.9)【3F】



『愛知県地域防災計画』愛知県防災会議事務局/編 愛知県防災会議事務局(2011)

県、市町村、自衛隊、公共機関などが大規模地震災害の際に、十分にその機能を発揮することを目的として作成された基本計画書。「風水害等災害対策計画」もあります。

## 地震対策

●『間違いだらけの地震対策』(369.31)【4F】



『間違いだらけの地震対策』目黒公郎/著 旬報社(2007)

阪神大震災の時、地震から助けてくれたのは自衛隊か消防士か？実は一番多いのは「近所の人」だった。効率的な防災対策と「自助・共助・公助」のシステムの重要性を解き、世間一般に誤解されている防災の「誤った常識」を指摘する。

## 津波対策

●『津波から生き残る その時までに知ってほしいこと』(369.31)【4F】



『津波から生き残る』土木学会津波研究小委員会/編 土木学会(2009)

津波は忘れた頃にやってきて多くの人を犠牲にする—その教訓を世代を超えて伝えるために、津波のメカニズムや、過去の被害状況、津波から生き延びる知恵などをわかりやすく解説。

## 災害全般

●『自然災害ハンドブック』(369.3)【4F】



『自然災害ハンドブック』山と溪谷社/編 アシトチエプレス/著 山と溪谷社(2011)

突然襲ってくる地震・津波・火山噴火・台風などの自然災害に備え、個人でできる防災対策をコンパクトに収録。ケガの救急法のほか、東日本大震災を受け、放射能への対処法も掲載。

## 他にもこんな資料があります

- 『東海地震、生き残るために』(498.89)【4F】 静岡新聞社/編 静岡新聞社(2007)
- 『わが家の防災 体験版』(369.3)【4F】 玉木貴/著 駒草出版(2005)
- 『地震と住まい 木造住宅の災害予防』(524.91)【4F】 日本建築家協会災害対策委員会地震と住まいWG/著 技報堂出版(2010)
- 『マンションの地震対策』(524.91)【4F】 藤木良明/著 岩波書店(2006)

## 地図でわかる防災

### 土地条件図【3F】

台地、低地、埋立地などの地形分類や、1m間隔の等高線などを重ねて表示した図。土石流、高潮、地盤災害など、その土地が受けやすい災害を知ることができます。(※愛知県分を所載)

### 都市圏活断層図【3F】

阪神大震災(1995年)以後、活断層に関する情報の整備・公開の必要性が高まったことから作成されたもの。人口が集中する都市域とその周辺の活断層の位置を表示しています。(※愛知県分を所載)

### その他にこんな地図もあります

●『日本の液状化履歴マップ 745-2008』(455.1)【4F】(DVD-ROM付)  
745年から2008年までに日本で発生した地盤液状化の履歴図等をDVDに収録。

### ハザードマップ【3F】

ハザードマップとは、災害時の被害想定や、避難経路、避難場所などを表示した地図のことです。住まいの耐震補強や非常持出品の準備など普段からできる備えや、災害発生時に気をつけることなども書かれており、災害への備えに総合的に活用できます。市町村のホームページで閲覧やダウンロードができるものもあります。

### ●地震に備える

『あなたの街の地震マップ』(名古屋市)、  
『豊田市地震ハザードマップ』、『知多市震度予測マップ』など

### ●その他の災害に備える

『岡崎市洪水避難地図』、『岩倉市浸水マップ』など

### ●避難・帰宅支援

『あなたの街の避難所マップ』(名古屋市)、『徒歩帰宅支援マップ』(名古屋市)、  
『地震だ！津波だ！すぐ避難』(一色町)、『津波避難防災マップ』(南知多町)など



『あなたの街の地震マップ』(名古屋市各区版)名古屋市(2004)

### ●国土交通省ハザードマップポータルサイト

全国の市町村がインターネットで公開しているハザードマップをまとめて閲覧できるサイトです。親戚や友人が暮らす遠方のハザードマップも見ることができるので、情報共有に役立ちます。  
<http://disapotal.gsi.go.jp/>





# 災害からの復興

私たちは自然災害によって壊された生活を、自分たちの力で元に戻していかなければなりません。復興に向けて、それぞれができることを考えてみましょう。



## 災害ボランティア

### ●『災害ボランティア読本』(369.3)【4F】

災害発生時から復興が始まるまでの3か月、当事者、ボランティアはどう動けばいいのか？阪神大震災の経験をもとに作られた実践的なマニュアルです。

### ●『あなたにもできる災害ボランティア』

(テコ J369)【3F】

インドネシアの津波被害での実例を通じて、誰にでもできるボランティア活動を紹介。



『あなたにもできる災害ボランティア』スベンドリニ・カクチ/著 岩波書店(2005)

## 復興に関する本の分類番号

|        |        |
|--------|--------|
| 災害救助   | 369.3  |
| ボランティア | 369.7  |
| 都市計画   | 518.8  |
| 耐震構造   | 524.91 |
| 原子力発電  | 543.5  |

※書名の後の( )内は分類番号

J=児童図書

テコ=ティーンズコーナー



## 復興・まちづくり・経済復興

### ●『<東日本大震災・原発事故>復興まちづくりに向けて』(369.31)【4F】

復興・まちづくりの進め方や今後について、東日本大震災発生後から6月までの間に行われた講演会やシンポジウム、有識者へのインタビューなどをまとめた本。

### ●『経済復興 大震災から立ち上がる』(332.1)【4F】

東日本大震災の復興にかかる費用は？復興のために何をすべきか？過去の災害復興の歴史を振り返りながら、いま日本が採るべき政策を提言する。

### ●『原発社会からの離脱』(543.5)【4F】

社会学博士・宮台真司氏と自然エネルギーの第一人者・飯田哲也氏が東日本大震災後のエネルギー政策と政治について語り合う。



## 節電・エコを考える

### ●『エネルギー危機からの脱出』

(501.6)【4F】

エネルギー問題を図解でわかりやすく解説。世界の成功事例から私たちがすべきことが学べる本。

### ●『打ち水大作戦のデザイン』

(519)【4F】

2003年、残り湯などを使って暑さを和らげようと始まった「打ち水大作戦」の全国的な運動の記録。



『節電・停電ハンドブック』消費電力研究会/編 双葉社(2011)

### ●『節電・停電ハンドブック』

(545.88)【4F】

家庭でできる節電のコツや、いざ停電になったときの対処などが、コンパクトにまとめられています。

### ●『脱電生活』(590)【4F】

我慢して頑張る節電ではなく、「電気を使わず楽しく暮らそう」というスタンスで書かれています。まずは身近で簡単な節電から！

# 災害を読む・映像で見る



## 文学を読む

### ●『関東大震災』(B913.6)【書庫】

大正12年、関東を激震が襲った。しかし人びとを苦しめたのは地震だけではなく…。具体的な事実や証言の描写から、当時の様子が実感できる記録文学。著者・吉村昭の『三陸海岸大津波』は、東日本大震災を機会に話題となりました。

### ●『空白の天気図』(B916)【書庫】

原爆投下・終戦直後、到来した枕崎台風によって広島で2千人を越える人命が失われたということはあまり知られていない。広島気象台に勤務する気象台員を主人公に、二重の苦難の中、人々がどう生きたかを柳田邦男が描いた作品。

## 他にもこんな本があります…

●『イレギュラー』(テコ 913.6)【3F】 水害に見舞われ、村民全員で避難生活を余儀なくされた村とその村の高校野球部員たちの物語。

●『大震災の記録と文学』(916)【3F】 文学者が残した大震災の記録をまとめた本。須知徳平の小説「三陸津波」や田中貢太郎の関東大震災「見聞録」なども収録。



## 映像・記録を見る

●『伊勢湾台風物語』(ビデオ) 伊勢湾台風が襲った日の出来事を描いたアニメ。小6のひかりは運動会を楽しみにしていた。しかしその日、大きな台風による高波が人も建物もあつという間に飲み込んでいった…。

●『20世紀日本の地震災害』(ビデオ・DVD) 20世紀に日本で起きた地震災害のデータや被害を記録した映像などを収録。

## ● コラム 「大正の広重」 初三郎が描いた関東大震災

大正から昭和にかけ、全国各地の観光地や都市の美しい鳥瞰図を描いたことで知られる吉田初三郎(1884-1955)。当館でもその鳥瞰図を多数所蔵していますが、その中の異色の作品に『関東震災全地域鳥瞰図絵』があります。震災から1年後の1924(大正13)年9月に新聞の附録として刊行されたものです。

相模湾の震源地を中心に1府6県に及ぶ被災地の全域を描いていますが、38,000人が焼死したといわれる本所の被服廠跡をはじめ、帝国大学や警視庁の炎上、横浜の貯油槽の爆発、鉄橋の崩落など、実際の被害をふまえて描かれていることがわかります。東京や横浜の街が赤々と燃え上がる様子は印象的です。

通常観光案内などに用いられる鳥瞰図に、事実や歴史を記録する大きな力があることを、この作品は示しています。



『関東震災全地域鳥瞰図絵』(愛知県図書館蔵)

Q. 過去の大地震で愛知県の震度がどれくらいだったか知りたい。

地震ごとの震度分布が『**日本被害地震総覧**』に地図で示されています。名古屋附近の震度は、濃尾地震で震度6、関東大震災で震度3、阪神大震災で震度3であったことがわかります。愛知県の災害について詳しくまとめた『**愛知県災害誌**』（3ページ参照）でも、震度を知ることができます。また「**気象庁震度**

**データベース検索**」([http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/shindo\\_db/shindo\\_index.html](http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/shindo_db/shindo_index.html))では、1926年以降の有感地震について、全国各地の震度を検索することができます。



Q. 災害で役所に保存されている戸籍簿がなくなってしまった場合、どのように復元するのか知りたい。

『**新戸籍実務の基本講座1**』に「戸籍簿又は除籍簿の全部又は一部が滅失した場合には、法務大臣の指示により、これを滅失当時の状態に回復します（戸籍法11条）。これを、実務上「滅失再製」といいます。」とあり、戸籍法、戸籍法施行規則などに定められた再製の手続きについて解説しています。『**現行戸籍制度50年の歩みと展望**』の「戦災による戸籍の滅失と再製」には、東京大空襲を例に、焼失した戸籍の再製の手順や使用された資料について具体的に書かれています。



- 開館時間 火～金 10時～20時（児童図書室・視覚障害者資料室は10時～18時）  
土・日・祝日 10時～18時
  - 休館日 月・毎月第2木（その日が祝日（振替休日）に当たるときは開館、次の平日に休館）  
年末年始（12月28日～1月4日）  
館内整理のための休館（平成24年は2月23日～3月8日）
  - 交通案内 地下鉄 鶴舞線又は桜通線「丸の内」下車 8番出口から徒歩5分  
市バス 幹名駅1系統・名駅14系統 「愛知県図書館」下車徒歩3分
- ※有料駐車場はありますが、台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。  
（最初の30分までは無料。以後30分ごとに100円。最高1,000円まで）

あゆち 第12号

平成23年12月15日発行

編集・発行 愛知県図書館

〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目9-3

電話 (052)212-2323(代表) / (052)212-3200(調査相談)

URL <http://www.aichi-pref-library.jp>

携帯サイトはこちら >>>

